



くまもと 市民児協だより

第12号

令和元年11月発行
発行者 熊本市民生委員
児童委員協議会
会長 野口 勲

〒860-0004
熊本市中央区新町2丁目4-27
熊本市社会福祉協議会内
☎096-288-2748



感謝 3年間の歩み

熊本市民生委員児童委員協議会

会長 野口 勲

熊本市民生委員児童委員協議会会長として、一期3年最後の「くまもと市民児協だより」となりました。皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。

○平成28年4月14日の前震、16日の本震と震度7という大地震に2回見舞われました。12月1日に会長職を拝命し、みなし仮設や公営住宅に移られた方々の見守り活動から始まり、今尚1,897世帯の方が生活されており、継続した支援が必要だと感じているところです。熊本地震を受け全国各地の民児協からの視察研修受け入れも18回を数え、防災・減災の取り組みに関する意見交換も活発に行われました。今後は、要援護者の支援に的を絞った住民主体の防災・減災訓練が実施できるよう、行政関係部署と協議を重ねていくところです。寺田寅彦先生の教えに「天災は忘れた頃に来る」という言葉があります。時変わり今は「天災はすぐ来る」です。日ごろから災害に備え、訓練と水・食料の備蓄が必要です。

○この3年間は100周年記念事業が次々と開催されました。平成29年9月東京ビッグサ



イトで天皇皇后両陛下（現上皇上皇后両陛下）ご臨席のもと1万人規模の記念大会が行われ、平成30年5月には熊本県・熊本市合同のパレードや記念大会が盛大に行われました。また、令和元年5月には100周年記念



支えあう
住みよい社会
地域から

碑を委員皆様のご協力により建立することができました。建立地は熊本城御幸橋のたもと三角公園内、元大阪府知事 林市蔵先生の胸像の隣です。100周年記念事業に巡り合い実行できましたことに、先人の方々の活躍を慮り考え深いものを感じます。全民児連が策定した「100周年活動強化方策」をふまえ、熊本市民児協としても次の100年に向けた「熊本市民児協活動強化方策」を策定します。策定においては、全委員の皆様にご協力いただき感謝申し上げます。ここで掲げたものが、必ずや後輩の皆様を受け継がれていくものと思っております。

○47都道府県・20指定都市で組織される全国民生委員児童委員連合会は、東京都新霞が関ビル全国社会福祉協議会内にあります。この3年間評議員を務めさせていただき、評議員会、機関紙編集委員会（ひろば・View編纂）、互助共励事業運営委員会と年7回出席しました。また、全国民生委員児童委員大会は、和歌山県、香川県、沖縄県、福島県、指定都市社協・民児連絡協議会は、堺市、浜松市、名古屋市、新潟市、横浜市、各地で開催される会議等へも数多く出席させていただきました。さらに、九州ブロック内持ち回りで開催される九州ブロック民生委員・児童委員関係事業会議は、本年、政令指定都市移行後初めて本市で開催し、次期開催地の福岡市へバトンタッチいたしました。

○政令指定都市移行後、現在の熊本市民児協組織も3期目を迎え、皆様も馴染んできたことかと思えます。以前は毎月単位民児協会長が集まり会長会を開催していましたが、現在

は5区ごとに会長会を開いて区および単位民児協における課題を検討し、理事会に諮り共通課題として取り上げ、全委員に周知するという方法に変わりました。しかし、各区からの提案案件が少なく、上意下達で70パーセントを占めています。議論すべき課題は、赤ちゃんから高齢者まですべての世代においてたくさんあります。もつと理事会を活性化するためにも、足元で起きているお困りごとをどんどん挙げていただきたいと思えます。各区で開催される全体研修会、会長副会長研修会へ出席した際、皆様の率直な意見が伺えたことは大きな収穫となりました。

○3年間の目標としてきたことは、(1)定例会の進め方について(2)見守り活動について(3)主任児童委員の活動について(4)負担軽減について(5)健康管理についてでした。詳細は「くまもと市民児協だより第11号」をご覧いただきたいと思えます。5項目とも委員お一人おひとりが日々自問自答しながら、研鑽、努力していただかなければならない課題であるうと思えます。

○今年は3年に一度の一斉改選を迎えます。毎回500名前後の方がご勇退されますが、一せつかく福祉の世界で活動してきたので、引き続きボランティア活動を続けたいという相談もあつていきます。地域でのお困りごと対策と次期民生委員・児童委員の育成も兼ねた支援員制度（仮称）が確立できないものかと、市民児協としても行政と協議を重ねているところです。政令指定都市では6市、九州内でもすでに同様の制度を取り入れている地域があり、熊本市内でも校区単位で活動が広がっています。

地域の福祉行政を担うのは委員の皆様です。健康に留意され、引き続き民生委員・児童委員活動に取り組んでいただきたいと思えます。結びに、3年間ご協力いただき誠にありがとうございました。

「市長と同行」高齢者見守り訪問

西区三和地区民児協 杉本 美代子

平成から令和になり、初めて上代一町内に大西熊本市長をお迎えし、5月7日午後から民生委員との同行訪問を行いました。

「訪問できるお宅を3軒ほど選出して下さい」と秦会長から要望があり、一軒一軒ご都合を伺いに回りましたが、テレビ・新聞社の同行取材もあるとのこと、なかなか承諾してもらえませんでした。

「市長に西区を是非知ってもらいましょう」との思いに賛同していただき了解を得ることが出来ました。

当日は、皆さん大西市長を楽しみに待っておられました。お会いすると、市長の気さくな人柄と一生懸命に耳を傾けられる姿に、皆さん現状の問題点や家族の事などを話され、なごやかな雰囲気での訪問となりました。



お会いできたことで市長との距離が縮まり、さらに地域の高齢者の方を知っていただく良い機会でもありました。有意義な同行訪問をさせていただきます感謝しています。

令和元年度 熊本市民生委員 児童委員協議会会長会

令和元年5月10日(金) ウェルパルクまもと

会議前に令和元年度熊本市ならびに熊本市社会福祉協議会職員紹介があり、その後、民生委員児童委員信条、児童憲章唱和、民生委員の歌を斉唱し、会長会が始まりました。昨年同様、議長に力合、力合西校区古屋会長を選出、冒頭野口会長は「いつなんどき何が起きるか分からないことを前提に見守り・訪問活動に対応できるように、また、人材不足といわれるが今求められる人材は総合的にまとめられる人」と日経新聞の記事を参考に各会長の奮起を訴えられました。

その後議案の審議が行われ、議案第一号「平成三十年度熊本市民生委員児童委員協議会事業報告」同第二号「一般会計決算報告」同第三号「互助会会計決算報告」が満場一致で可決されました。

また報告事項として、一つ目に熊本市民生委員児童委員協議会特別会計について、二つ目に全市民児連「熊本地震民生委員・児童委員支援募金」における民児協活動のための助成金活動使途報告が資料1・2で説明されました。

野口会長より「会長会は無事終わりましたが、野口会長はいよいよ最終コーナーに差しかかり、引き続きの整理、次に繋ぐ役割も果たして欲しい」と結ばれました。

令和元年度九州ブロック民生委員・児童委員関係事業会議

期日：令和元年8月29日(木)・30日(金) 会場：熊本ホテルキャッスル

8月29日、30日の両日、熊本ホテルキャッスル2階キャッスルホールにて令和元年度九州ブロック民生委員・児童委員関係事業会議が開催され、九州各県・指定都市から85名の民生委員・児童委員関係者が集いました。

この会議は、九州各県・指定都市持ち回りで開催されているもので、平成24年の熊本市政令指定都市移行後初めて本市主催で開催されたものです。

1日目は、開会のことば、民生委員児童委員信条朗読後、熊本市民生委員児童委員協議会野口会長と熊本市社会福祉協議会潮谷会長の主



〈基調報告〉

I 地域福祉・子ども子育てをめぐる動向と民生委員・児童委員活動

II 民生委員・児童委員活動の重点課題と全市民児連の取り組み
以上が報告されました。

その後、休憩を挟み、2会場に分かれ分科会が開催されました。

〈分科会〉

第1分科会

- ・ 共通協議題 「地域版 活動強化方策」の策定に向けて
- ・ 選択協議題 「地域性を踏まえた課題について」「なり手確保や負担軽減のための取り組み」

第2分科会

- ・ 共通協議題 「地域版 活動強化方策」の策定に向けて
- ・ 選択協議題 「自然災害に備えるために」

2日目は、全体会にて昨日の分科会報告および全体協議が行われ、寺田副会長ならびに佐甲部長から助言をいただき、全員で課題等を共通認識いたしました。

最後に、次年度の開催地福岡市民生委員児童委員協議会森住会長の挨拶後、閉会のことばにて2日間の会議を閉会いたしました。

令和元年度 熊本市市民児協会長視察研修

阪神・淡路大震災に見舞われた神戸市民児協との交流会

令和元年5月14日(火)
神戸市役所会議室

平成7年1月17日早朝、神戸市は激震に見舞われました。当時、日本中を震撼させた「阪神・淡路大震災」です。それから22年が過ぎ、神戸の街は見事な復興を果たしました。

熊本の震災から3年が過ぎ、今年度の会長視察研修は復興の先駆者である神戸市民児協の皆様と交流し、地震からの復興を経験した神戸の実例を学ばせていただくことになりました。

私たちは新幹線内で駅弁昼食を済ませ、神戸市役所に直行しました。市役所会議室で、市社協の担当者による災害時の概要説明と神戸市民児協会長のご挨拶の後、現神戸市民児協会長と私たち熊本市市民児協会長のグループ対話が行われました。

私の所属する中央区第2グループ9名は兵庫区の会長2名と中身の濃い情報共有が出来たことに感謝しつつ、ここに記させていたただきたいと思えます。

〈兵庫区〉

兵庫区は一昔前の神戸の中心地。今の市役所のある中央区より西側に位置し、海から山まで南北に带状に続く一帯。兵庫区の西には長田区があります。

ほぼ一人で熱弁を振るわれた女性の会長は「百年前の新興住宅地」である高台に住まわれており、震災時の神戸の様子を俯瞰するように眺められていたとのことでした。

〈高台から見た震災〉

直後

激しい揺れの後、あちらこちらから煙が上がリ、火の手が上がリ広がっていくのが見えているのに、消防車のサイレンの音一つ聞こえない。

い。まるで映画のような夢の中のような光景を今でも忘れることが出来ません。恐らく大変な状況であろうと想像しても、ただ見ているだけでした。

自衛隊

自衛隊の皆さんが来て下さって、状況は大きく変わりました。運搬道路の確保がなされ、食料や支援助物資が届けられるようになりました。お風呂も有り難かったです。

警察や消防の方にもご尽力いただきましたが、やはり自衛隊の皆さんの活躍は凄かったです。活躍のわりには報道が少なかつたと思います。

ボランティア

神戸の震災が、日本の震災ボランティア元年ではないでしょうか？今では、ボランティアは自身で食料を持ち込み寝る場所を確保するというのが常識となつていますが、当時はその理念が徹底されておらず、宿舎や食料などの要求をするボランティアも多く、トラブルも散見され



ていたようです。今では、その経験が活かされていることが嬉しいと思えました。

仮設住宅

兵庫区の高台には火災等もなかったため、多くの仮設住宅が建設されました。近所の公園や空き地などにプレハブが建設され、住宅を無くしたお年寄りが次々と入居してきました。当時は、とにかく寝場所の確保。今までのつながりなど考慮する余裕もなく、とにかく入居していただく。

入居者の皆さんが和気藹々と過ごされている熊本地震の仮設住宅のニュースを見て、うらやましく思いました。

備蓄倉庫

兵庫区の備蓄倉庫は海岸に近いところにあります。津波が来たら大丈夫かしら？とか、心配しつつ、津波にも安全である高台に備蓄倉庫を作って欲しかったと話しています。

〈グループによる違い〉

熊本の震災で被害の少なかった北区のグループが神戸の震災で火災に見舞われた長田区と同じグループであったり、熊本で被害が激しかった東区グループが余り被害のなかった地区との対話であったりして、盛り上がり方に欠けたという例もあったようですが、会長それぞれに得たものがあつたのではないかと思います。

〈遺構見学〉

その後、私たちはバスに乗り、震災の記憶をとどめるためにあえて残された遺構の見学に行きました。壊れた岸壁と傾いた街路灯が当時のまま残され、震災の激しさを物語っていました。

市民児協・市社協による三者協議の開催

平成31年1月から新たな取り組みとして、市民児協・市社協が会し、民生委員・児童委員活動ならびに民児協組織の課題について協議を行う「三者協議」を開催しています。市からは健康福祉政策課長ならびに副課長、市社協からは常務理事ならびに事務局長、市民児協からは野口会長をはじめ副会長5名、それにそれぞれ担当課職員が出席しています。

第1回目の協議の中から、喫緊の課題として①民生委員・児童委員活動のバックアップ体制の構築②防災・減災に対する地域の取り組みを取り上げ、現在まで4回に渡り協議を進めてきました。

①については民生委員支援員制度を導入している他県・市の情報も参考にしながら協議を進めており、②については熊本地震時の反省を踏まえ、実際に災害時要援護者名簿を利用した小単位(町内)での訓練の実施を検討しているところです。これについては、引き続き検討事項として協議を行い、理事会を通じて各委員の皆様にも情報提供を行っていきたいと思えます。

主任児童委員部会からの報告

「熊本市主任児童委員部会第2回研修会」 日時：令和元年9月6日（金） 10:00～15:10
 会場：くまもと県民交流館パレア パレアホール

熊本市市民児協 野口会長出席のもと、【第1部】【第2部】に分けて下記のとおり研修会が開催されました。

【第1部】 全国主任児童委員研修会（西日本）参加報告

下記5名が参加報告を行いました。主任児童委員の役割や児童虐待の早期発見・予防、またその取り組みの強化など全国の事例を交えながら報告され、実りあるものとなりました。また、その後、津地会長より児童虐待防止対策に関する法的な推移等についての報告があり、児童委員・主任児童委員の役割などを確認する機会となりました。



全国研修会で紹介された湯もみ唄「草津節」に合わせた手あそび

【発表者】 平野洋子（北部：城北校区） 辻 京子（東部：長嶺校区）
 重藤智恵（西部：花園校区） 林 靖子（中央：帯山校区）
 北野裕子（南部：飽田西校区）

全国研修会に参加し研修を積むことは、視野が広がり次の活動の原動力になる大切なことだと報告を聞きながら再認識しました。

【第2部】 講演



演題 「子どもの権利条約は子ども支援の羅針盤」～子どもを虐待から守るために～

講師 くまもと子どもの人権テーブル 代表 砂川真澄氏

現在の新児童福祉法（平成29年4月施行）の土台になっている子どもの権利条約を知るとは、子どもと向き合う仕事をするうえで活動の指針となります。また、アメリカ合衆国以外のすべての国がこの子どもの権利条約に批准し、国連からのチェック機能もあり、今や世界中の共通認識となっています。そのような中、日本における高頻度の虐待事案発生を懸念し、国連から対策を強化するよう日本政府に勧告されています。今日増加傾向にある虐待を考えると、大きな課題であると改めて考えさせられました。

また、子どもの権利の中には、子どもの発達に応じて子ども自らが考え、表現し、参加する権利（意見表明権）もあり、これは案外見落としがちで権利であることから、深く子どもの福祉を考えたときに大きな学びとなりました。

この研修を受け、人権の捉え方など今一度考える機会となりました。見落としがちで子どもの権利を念頭に置き、罪のない子どもたちの保護について考えさせられました。そして、子どもの権利と自由を考えると、子どもに自由の使い方を獲得させ、社会で責任を持って生きていける力を培えるよう援助していける大人でありたいとも思いました。

◆個人情報の管理について…再認識を!!

民生委員・児童委員には、行政から各種名簿が提供されていますが、先般、高齢者名簿を紛失するという事案が発生しました。名簿もそうですが、民生委員・児童委員は個人情報に触れる機会が多くあります。今一度、名簿等の保管方法について各自責任を持ち、定期的に所在確認を行うなど、管理の徹底を図っていきましょう。

◆令和元年度後期行事予定	11月18日	会長研修会
		会長会〔総会〕
	22日	主任児童委員部会第3回研修会および交流会
	12月1日	一斉改選
	3日	委嘱状伝達式
		熊本市民生委員・児童委員全体研修会
	13日	会長会〔総会〕
	1月14日	新年互礼会
	24日	退任式
	2月18日	熊本市主任児童委員研修会
	3月5日	会長会〔総会〕
	12日	熊本市民生委員・児童委員新任者研修会

野口志津子（南区・田迎南校区）
 田中康子（中央区・向山校区）
 作本繁喜（西区・中島校区）
 丸山透（東区・画図校区）
 細西恭代（中央区・城東校区 主見）
 長尾和好（北区・榎木校区）
 下雅意清（東区・桜木東校区）
 故西田耕造（南区・田迎西校区）



「くまもと市民児協だより」7号から12号までを7名の広報委員で担当させていただきました。一緒に頑張っておられた田迎・田迎西校区民児協の西田会長が平成30年9月にお亡くなりになり、本当に残念でした。

新たな委員を迎え皆様へ様々な情報をお伝えすべく皆で頑張っていました。記事の内容はいろいろでしたが、記事の内容はいろいろが良かったでしょうか。今後、民生委員・児童委員活動はますます期待されると思われまます。これからも皆様の活動にお役に立つような「だより」が発行できますよう次の広報委員さんに期待したいと思います。

皆様3年間ありがとうございました。
 （広報委員 野口志津子）

編集後記